

決算特別委員会産業建設分科会

R 7. 7. 28（月）常任委員会終了後

場所：全員協議会室

- 1 開 議
- 2 事務事業評価対象事業の選定
- 3 その他

決算事務事業評価に向けて

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映させること。

☆事業選定について

（留意点）

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業。
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成果が見えにくいもの。
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業。
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの。

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

過去４年間における評価結果（選定事業／評価結果／付帯意見）

【令和６年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
森林活用推進事業経費	拡充
○森林資源解析結果やレーザ林相図などの資料を有効に活用して、持続可能な森林資源の利用促進に努められたい。 ○今後、豊かな森を育てる基金を積極的に活用し、計画的に適切な森林整備に努められたい。また、将来を担う林業従事者の人材育成に取り組まれたい。	
公園緑地整備事業費（単独）	見直しの上継続
○住民の声を聞き、防災や地域コミュニティなど、各地域における公園の在り方を見直されたい。 ○昨今の物価高騰などを考慮する中で、補助制度の見直しを検討し、地元の負担軽減を図られたい。	
管渠布設費	現状維持
○昨今の異常気象を鑑み、短期間での大雨など想定外の自然災害に対応できるよう、より安全な雨水排水整備事業を進められたい。 ○事業完了予定日が延伸されているが、住民が安心して暮らせるよう迅速な整備に努められたい。	

【令和５年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
バス交通関連経費	見直しの上継続
○現状の公共交通網の課題を十分に確認し、誰もが安心して利用できるよう、市民ニーズを捉えた上で事業推進されたい。 ○交通空白地等地域生活交通事業補助金について、地域に根差した持続可能な取組の後押しとなるよう内容を充実されたい。 ○今後も議会としっかり連携し、市内公共交通の維持・充実に努められたい。	
農業担い手づくり育成事業経費	拡充
○引き続き支援制度を充実し、新規就農者を育成されたい。 ○新規就農者に向けた研修会や意見交換会などを行い、農業者の育成を図られるとともに、地域の農業者とより良好な関係を築けるよう努められたい。	
畜産振興関係経費	拡充
○亀岡市土づくりセンターの臭気対策に一層努められたい。 ○広域連携や民間事業者との連携も含めた今後の亀岡市土づくりセンターの在り方について、中長期的に検討されたい。	
林道管理事業経費	拡充
○森林施業の効率化のために林道整備は重要なものであり、森林環境譲与税の活用も含めて適切な林道管理を行われたい。 ○長期的な視点をもって継続した林道の維持管理に努められたい。	

【令和4年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
道路維持経費	拡充
○安定した予算確保のもと、安全・安心な道路行政に努められたい。また、道路整備マップ等で情報を可視化するとともに、SNS等を活用し、市民協働型で道路状況等を取り入れる仕組みを構築されたい。	
排水路新設改良事業費	拡充
○ゲリラ豪雨に対応できる市街地の排水路整備について、しっかりと予算を確保して進められたい。また、業務の効率を向上させるために、各関係部署と連携を図られたい。	
森林活用推進事業経費（森林意向調査実施計画策定業務委託料・森林経営管理権集積計画業務委託料）	拡充
○林務体制の強化及び予算の充実を図り、森林環境整備を促進されたい。さらに、早急にプランナー等の人材を育成するとともに、施業技術等の向上について他市町とより一層連携されたい。また、有害鳥獣対策も考慮した中で、森林整備計画をよりよい計画に見直されたい。	

【令和3年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
林業担い手育成事業経費	その他（事業名に対して必要な予算措置がされていない）
○現状として、この経費は亀岡市森林組合の作業員に対してのみ使用されており、本来の事業趣旨・目的に沿った予算措置がされていない。もう一度初心に返り、林業の担い手育成とは何なのかをしっかりと再認識し、担い手育成を最優先に考え、森林整備計画を作成の上、必要な予算の確保や体制整備を図られたい。	
観光推進経費（外国人観光客向け観光案内所窓口強化業務委託料）	見直しの上縮小
○現在のコロナ禍においては、事業目的に対しての必要性がほとんど感じられない。この状況の中で、どのように有能な人材を育成・確保していくのかを考え、通常の観光案内に戻し、取り巻く環境に応じた仕組みを構築されたい。	
観光推進経費（亀岡市観光協会運営費補助経費、亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費）	見直しの上継続
○正確な観光入込客数のデータを把握し、各関係機関との連携を事細やかに行うとともに、的確な戦略を立てることが出来る人材の確保と組織をつくられたい。また、観光の宣伝については、各交通機関や地元観光事業者と協力し、観光客に喜ばれる仕組みを構築されたい。	